

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E12 教職概論	亀井 裕子	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択	必修			A B
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
人間形成の基礎を培う教育職員の責務は重要なものがあることを学ぶ。 教育職員に関する職務の意義やその果たす役割、職制の概要について理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	教職の意義、目的① 教育観及び教職観について学ぶ	シラバスを読む	教育観や教職観についてまとめる	9	幼稚園教諭の職務 幼稚園教諭の身分、服務について学ぶ	幼稚園教育要領を読む	学んだことをまとめる		
	2	教職の意義、目的② 社会が求める人材育成について考える	教職について調べる	人材育成についてまとめる	10	教師の職務 人間形成の支援について学ぶ	職務について調べる	学びのまとめをする		
	3	教師の資質能力① 豊かな人間性、教育者としての使命感について学ぶ	教師の資質とは何かを考える	教師の人間性や使命感についてまとめる	11	教育課程編成の基本 実態と要請について考える	教育課程について下調べをする	教育課程に関する実態を掴む		
	4	教師の資質能力② 子どもを取り巻く問題と教育のあり方	前時の振り返りをしておく	子どもの問題についてまとめる	12	指導計画の作成 学級経営と教育活動について考える	指導計画について下調べをする	分かったことをまとめる		
授業の概要										
教育職員の職務や意義について理解する。 教育職員として必要な資質能力を身に付けるために現場の実践事例などを基に学ぶ。	5	保育者の資質能力 幼児の発達について理解する	幼児の発達について調べる	幼児の発達についてまとめる	13	研修と勤務 教師の資質向上と教師の評価について学ぶ	教員の研修について調べる	分かったことをまとめる		
	6	幼稚園教諭の資質能力① 指導計画及び学級経営について学ぶ	幼児教育における指導計画について調べる	指導計画についてまとめる	14	今後の課題 これからの幼児教育とチーム学校としてのあり方について考える	幼児教育の課題について調べる	学びのまとめをする		
	7	幼稚園教諭の資質能力② 園務分掌や幼児管理について学ぶ 保育者間の連携による専門性の発揮について	保育者の仕事について調べる	園の仕事についてまとめる	15	教職についてのまとめ	これまでの資料に目を通す	学びの総まとめをする		
	8	教師の役割 教師の役割について知る	前時までの復習をする	教師の役割をまとめる						
教科書・テキスト等	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所指針 幼保連携型認定こども園（チャイルド社）			成績評価基準	評価方法		割合(%)		評価のポイント	
	平常点 課題（レポート） 試験		30% 10% 60%		意欲 態度 テーマの理解 自分の考え 丁寧さ まとめ方 理解度 自分の考え					
参考書・参考資料等										

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E14 こども家庭支援論	岡村 ゆかり	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択		必修		B C F
授業のテーマ及び到達目標		授 業 計 画								
【授業のテーマ】子ども家庭に対する支援の意義と目的、子ども及び子育て家庭を取り巻く環境や支援の現状と課題の理解を踏まえ、保育者としての保護者支援、家庭支援のあり方を考察する。 【到達目標】①子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解することができる。 ②保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解することができる。 ③子育て家庭に対する支援の体制について理解することができる。 ④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	子ども家庭支援の意義と必要性	テキストの「はじめに」を読む	関心を持った事例、わからなかった点を整理する	9	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する		
	2	子ども家庭支援の目的と機能	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する	10	子ども家庭支援の内容と対象	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する		
	3	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 子育て家庭の福祉を図るための社会資源	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する	11	保育所等を利用する子どもの家庭への支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する		
	4	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する	12	地域の子育て家庭への支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する		
授業の概要										
この科目では、子ども及び子育て家庭を取り巻く環境の理解を深め、子育て家庭への支援に関する保育士としての基本姿勢や支援内容、さらには、支援の実践方法・技術などを学びます。基本的には講義形式で行いますが、事例を用いたグループワークなどの演習形式で行う場合もあります。	5	子どもの育ちの喜びの共有	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する	13	要保護児童およびその家庭に対する支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する		
	6	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する	14	子育て支援に関する課題と展望	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する		
	7	保育士に求められる基本的態度	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する	15	まとめ（試験）	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する		
	8	家庭の状況に応じた支援	提示された課題に取り組み、次の授業に持参する	関心を持った事例、わからなかった点を整理する						
教科書・テキスト等	『新・基本保育シリーズ⑤ 子ども家庭支援論 第2版』 中央法規（2023年）			成績 評価 基準	評価方法		割合（%）	評価のポイント		
				期末試験 課題/レポート 平常点（態度・行動観察）	60% 20% 20%	理解の程度 課題への取り組み姿勢 参加態度、リアクションペーパー				
参考書・参考資料等	適宜配布する									

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E15 こども家庭支援の心理学	荒木 晴美	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択				A B F
授業のテーマ及び到達目標		授 業 計 画								
①生涯発達に関する心理学の基礎を学び、発達領域や発達理論を学ぶ意義について理解する。 ②家族・家庭の意義と機能を理解し、親子関係・家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭に関する現状と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	授業のガイダンス 生涯発達とライフサイクル	エリクソンのライフサイクル論を調べしておく	様々な発達領域・発達理論の関係について整理する	9	ライフコースと仕事・子育て	ライフコースと何か調べておく	ワーク・ライフ・バランスについてまとめる		
	2	乳幼児期から学童期前期にかけての発達	アタッチメントについて調べておく	心理社会的問題をまとめる	10	多様な家庭とその理解	ひとり親家庭の現状について調べておく	支援のあり方をまとめる		
	3	学童期後期から青年期にかけての発達	ピアジェの認知発達理論について調べておく	自分自身のアイデンティティの状態を把握する	11	特別な配慮を要する子どもと家庭	どのような特別な配慮があるか調べておく	保護者や外部機関との連携のポイントをまとめる		
	4	成人期から老年期にかけての発達	成人期以降の生涯発達の課題を考えておく	成人期以降の発達の特徴と発達課題を整理する	12	なぜ子どもの精神保健を学ぶのか	精神保健とは何か調べておく	子どもの健康な発達を支える親子支援についてまとめる		
授業の概要										
4つのテーマに沿って①より順に学んでいく。 人が生活にわたって発達していく過程を、各時期の特徴や課題を学ぶ。 個人と同じく家族もまた発達し、親も子育てを通じて発達・成長していくことの意味を学ぶ。 現代社会における家庭や子育ての現状と課題を学び、そうした家庭に対する支援も理解する。 子どもの心の健康について、環境との関連や、障がいや疾患の基本的な内容と合わせて学ぶ。	5	家族・家庭の意義と機能	自分なりに家族・家庭とは何か考察しておく	家族の現状を規模、構造、機能から整理する	13	子どもの生活・生育環境とその影響	「感受期」「レジリエンス」について調べておく	環境と子どもの発達の関係性について整理する		
	6	親子関係・家族関係の理解	多様な親子関係を調べておく	心理学の視点から親子関係の特徴をまとめる	14	子どもの心の健康にかかわる問題①	「発達障がい」について調べておく	発達障がいの症状や支援の方法をまとめる		
	7	子育ての経験と親としての育ち	「親になる」とはどのようなことか考察しておく	親としての発達をまとめる	15	子どもの心の健康にかかわる問題②	心の状態が関係する疾患を調べておく	その疾患の症状や対応についてまとめる		
	8	子どもと家庭の状況	現代日本の家庭状況を調べておく	家庭状況の課題を整理する						
教科書・テキスト等	こども家庭支援の心理学(北樹出版)			成績評価基準	評価方法		割合(%)	評価のポイント		
					期末テスト		70%	学習内容理解		
					課題・レポート		10%	記述内容		
					平常点		20%	態度・行動観察・毎時間の振り返り		
参考書・参考資料等										

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3C16 こどもの健康と安全	末武 けい子	単独	1単位	こども学科 2年次	後期	選択		必修		A B F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
保健活動の計画及び評価と心身の健康に関する保健活動や環境を理解する。また、体調不良に対する適切な対応と感染症対策・衛生管理並びに安全管理を理解して、保育現場において実践できる応用的知識と技術を習得する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション（こどもの健康と安全） 1、保健的観点をふまえた保育環境及び援助（1）保育環境	シラバスとテキストを熟読	自分の成功体験を確認し、学修のまとめをする	9	4、感染症対策（嘔吐処理等） （1）感染症の集団発生の予防 （2）感染症発生時と罹患後の対応 レポート連絡	テキストを熟読する	学修（嘔吐処理等）のまとめをする		
	2	（2）健康及び安全管理（乳幼児等の視力・聴力・身長・体重測定体験）	テキストを熟読する	子どもの安全を考え、学修のまとめをする	10	5、保育における保健的対応 （1）保健的対応の基本的な考え方 （2）3歳未満児への対応（おむつ交換・人工乳・沐浴体験）	プリントを熟読する	学修（3歳未満児等）のまとめをする		
	3	2、保育における健康及び安全管理（1）衛生管理（手洗い体験） DVD（0歳児）視聴	テキストを熟読する	手洗いの仕方を習得し、学修のまとめをする	11	（3）個別の配慮を要する子どもへの対応 DVD（1～2歳児）視聴	プリントを熟読する	学修のまとめをする		
	4	（2）事故防止及び安全対策（子どもの口径体験）	テキストを熟読する	学修（安全対策）のまとめをする	12	（4）障害がある子どもへの対応 DVD（3～5歳児）視聴 レポート提出	応急処置について調べる	学修のまとめをする		
授業の概要										
保健の専門的知識を深めた上で、健康及び安全管理の体制づくりを学ぶ。また、体調不良児の対応や応急処置・救命処置及び感染症拡大防止を学び、健康・安全の管理は全職員及び保護者の共通理解の下、連携・協働して実施することを学ぶ。	5	（3）危機管理 （4）防災への備え （子どもの視野体験）	テキストを熟読する	学修（防災）のまとめをする	13	6健康及び安全管理の実施体制 （1）保育における保健活動の計画及び評価	テキストを熟読する	学修（保健計画）のまとめをする		
	6	3、子どもの体調不良等に対する適切な対応 （1）体調不良や障害が発生した場合の対応 （2）応急処置（包帯持参）	応急処置について調べる	学修（応急処置）	14	（2）職員間の連携・協働と組織的取組 （乳幼児健診体験）	テキストを熟読する	学修（乳幼児健診等）のまとめをする		
	7	救急処置及び乳幼児の救命処置 消防署救急隊員による実技講習（2時間） ・心肺蘇生の手順	テキストを熟読する	学修（心肺蘇生）	15	まとめ ・これまでの学修内容を総括する	これまでの学修内容を振り返る	これまでの学修内容の要点をまとめる		
	8	・AEDの使用手順 ・誤飲時の対応 ・エビソンの使い方	プリントを熟読する	学修（AED使用）						
教科書・テキスト等	こどもの健康と安全 演習ノート（診断と治療社）、 適宜プリント配布		成績評価基準	評価方法		割合（％）	評価のポイント			
				平常点（態度・行動観察）	10％	受講態度、実技の取り組み				
参考書・参考資料等				課題 / レポート	10％	内容の深さと自分の考え				
				期末テスト	70％	筆記試験の点数				
				毎時間の振り返り	10％	提出状況、内容の充実				

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E17 こどもの食と栄養	池上 由美	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択		必修		ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
保育者として、栄養教育・食教育の支援方法を修得する	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 子どもの健康と食生活の意義Ⅰ ・こどもの食と健康を概観する ・小児期の栄養と食生活の意義	シラバスの確認	テキスト・配付資料の見直し	9	幼児期の食生活Ⅰ ・食機能の発達と成長 ・幼児期の栄養・食生活の実態 ・保育者としての対応	前回、指示をしたテキストのページを予習	幼児期の食生活について対応を考える		
	2	子どもの健康と食生活の意義Ⅱ ・身体発育と栄養状態の把握 ・食べる機能・消化吸収機能の発達	前回、指示をしたテキストのページを予習	テキスト・配付資料の見直し	10	幼児期の食生活Ⅱ ・間食の意義とその実践 ・間食の与え方 ・幼児期の弁当	前回、指示をしたテキストのページを予習	間食内容を考える		
	3	栄養に関する基礎知識Ⅰ ・栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能 ・食物連鎖	前回、指示をしたテキストのページを予習	テキスト・配付資料の見直し	11	特別な配慮を要するこどもの食と栄養 ・疾病および体調不良の子どもへの対応 ・食物アレルギー	前回、指示をしたテキストのページを予習	食物アレルギーの保育者の対応を考える		
	4	栄養に関する基礎知識Ⅱ ・日本人の食事摂取基準 ・食事構成に関する基礎知識	前回、指示をしたテキストのページを予習	テキスト・配付資料の見直し	12	児童福祉施設における食生活 ・各施設の食生活 保育所 乳児院	前回、指示をしたテキストのページを予習	各施設の特徴を復習する		
授業の概要	5	栄養に関する基礎知識Ⅲ ・食事バランスガイドとは ・食事バランスガイドの作成	前回、指示をしたテキストのページを予習	食事バランスガイドの内容を整理する	13	学齢期の食生活上の問題 ・学齢期の食生活 こ食 食育の動向	前回、指示をしたテキストのページを予習	学齢期の食課題をまとめ、対策を考える		
こどもの食生活は、生活習慣の基礎となり、将来の健康を左右する 幼児の身体的（発育・発達）特徴を知り、栄養とその機能の基礎・役割と、幼児期の適切な食の選択と食べ方を学ぶ	6	生涯発達と食生活 妊娠・授乳期の栄養と食生活 ・ライフサイクルと食生活 ・妊娠の瘦身願望と胎児への影響	前回、指示をしたテキストのページを予習	食生活を振り返り次世代の栄養摂取について考える	14	保育者による食育・栄養教育 ・食育 ・発育・発達過程に応じて育てたい “食べる力”とは	前回、指示をしたテキストのページを予習	保育所等における食育の実態を調べる		
	7	乳児期の食生活Ⅰ ・食機能の発達と成長 ・乳汁栄養・調乳方法の確認	前回、指示をしたテキストのページを予習	調乳方法をまとめる	15	まとめと試験（総復習） ＊これまでの講義・演習内容を総括し、理解を深める	これまでの授業内容を熟知しておく			
	8	乳児期の食生活Ⅱ ・離乳の意義とその実践 ・離乳時期の忌避食品の確認	前回、指示をしたテキストのページを予習	成人の献立から離乳食を展開する						
教科書・テキスト等	「第6版 こどもの食生活―栄養・食育・保育―」（ななみ書房）、授業ごとに資料を配付する			成績評価基準	評価方法	割合（％）	評価のポイント			
参考書・参考資料等					筆記試験 平常点（行動観察） 課題提出	60% 30% 10%	授業の取り組み・参加態度など 提出期日の順守			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E2E18 保育内容（健康）	石岡 ひろみ	単独	2単位	こども学科 2年次	後期	選択必修	必修	必修		ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
乳幼児の心身の発達を学び、子どもたちが充実感を持ち見通しをもって行動する方法を知る。健康で安全な生活をつくり出す力を養うための環境構成や援助の仕方について理解し、指導できるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	第1章 領域「健康」のめざすもの 保育・幼児教育の基本 園の健康なわらい・内容	シラバスの内容を精読 第1章を精読しておく	研究課題に取り組む（確保の相違点、類似点）	9	第8章 幼児の安全管理と安全教育 安全管理と安全教育の必要性 園内における事故・傷害	教科書、第8章を精読しておく	研究課題に取り組む（事故と発育発達の特徴）		
	2	第2章 幼児の健康 幼児の健康状態の把握と健康をめぐる最近の問題	教科書、第2章を精読しておく	研究課題に取り組む（環境要因、アレルギー疾患）	10	第8章 幼児の安全管理と安全教育 事故の原因と特徴/安全管理と教育の実践 模擬保育～健康・安全を伝える	教科書、第8章を精読しておく	研究課題に取り組む（安全管理と安全教育）		
	3	第3章 幼児の発達理解 子どもの理解を深める発達観 運動機能の発達/発達理解、指導案作成	教科書、第3章を精読しておく	研究課題に取り組む（原始反射のまとめ）	11	第9章 応急処置法 幼児によくみられるけがや急病とその応急処置法	教科書、第9章を精読しておく	研究課題に取り組む（保育現場での事故）		
	4	第3章 幼児の発達理解 「発達表」を基に理解を深める 模擬保育の実践	教科書、第3章を精読しておく	研究課題に取り組む（あそびと社会性の発達）	12	第10章 運動体験を広げる体育的行事 保育の成果を公開する行事 ～工夫して伝える	教科書、第10章を精読しておく	研究課題に取り組む（運動会のプログラム実施）		
授業の概要	5	第4章 幼児のあそびの発達と健康 幼児のあそびとは何か/幼児の発達過程、 「幼児期運動指針」/指導案作成	教科書、第4章を精読しておく	研究課題に取り組む（伝承遊びのおもしろさ）	13	第10章 運動体験を広げる体育的行事 季節感のある運動あそびを伴う行事 環境と運動あそびが育つ行事	教科書、第10章を精読しておく	研究課題に取り組む（運動体験が広がる行事）		
健康な心と体の基礎をつくる乳幼児期の発育・発達の特性、及び自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養うための環境構成や援助の仕方について学ぶ。また、健康に関する具体的な保育構想の向上に取り組む。	6	第5章 幼児の体格・運動能力の現状と課題 体格の年代変化 定量的運動能力の年代変化	教科書、第5章を精読しておく	研究課題に取り組む（発達と生活環境の影響）	14	一年を通して伝えていきたい子どもの病気についての知識や健康に関する生活習慣について学び、実際に「健康だより」を作成	掲載資料収集について考える	研究課題に取り組む		
	7	第6章 幼児の生活スタイル 現状と問題点、生活習慣の自立、指導 食育～映像を活用した指導	教科書、第6章を精読しておく	研究課題に取り組む（正しい生活リズムの重要性）	15	健康だよりに必要な内容、キーワード、読みやすい文字、レイアウト等を考えて仕上げる 幼児期運動指針／まとめ	資料を基に「健康だより」を作成する	学修したことを振り返りまとめる		
	8	第7章 幼児の体格・運動能力測定法と評価 体格・運動能力の測定法、評価	教科書、第7章を精読しておく	研究課題に取り組む（評価の有効性）						
教科書・テキスト等	演習 保育内容「健康」―基礎的事項の理解と指導法―（建帛社）			成績評価基準	評価方法	割合（％）	評価のポイント			
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料配付				期末試験 課題／発表／振り返り 平常点（態度）	50% 30% 20%	理解度、独自の考え 課題への取り組み方、発表の内容 保育者の視点をもった積極的な取り組み			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	卒業検出	ディプロマポリシー
KC2E2E19 保育内容（人間関係）	松岡 和男	単独	1単位	こども学科 2年次	後期	選択必修	必修	必修		A B C D F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解する。	1	オリエンテーション 現代社会と幼児の人間関係 ～家庭・地域での経験と幼児教育に期待されるもの	シラバスをもとに、学習内容の見直しを立てる	学んだことをまとめる						
	2	3歳未満児における人間関係の発達 ～身近な大人との関係を基盤として育つ子ども 【映像資料を活用して】	テキストや参考資料の該当箇所を読んでおく	幼児教育の特性についてまとめる						
	3	幼児の遊びや生活の中で見られる人と関わる力の育ち ～関係性の育ちや個と集団の育ちを視点として	幼児の遊びや生活について、自分でまとめておく	配布資料を読み直す						
	4	乳幼児期の自立心の育ち ～「イヤ」「ジブンデ」から始まる自立への道 ＊グループ活動による模擬保育	乳幼児期の自立心について、復習しておく	学修内容を振り返り、整理しておく						
	5	現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要員について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に、「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論として、関係発達論的視点について学び、他者との関係や集団との関係の中で幼児期の人と関わる力が育つことを理解する。	幼児期の協同性の育ち ～目標を共有し協力してやり遂げようとする力の育ち	テキストや参考資料の該当箇所を読んでおく	配布資料を読み直す					
	6	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと育ち ～他者との葛藤体験を通して身に付ける力の育ち	幼児期の道徳性についてテキストで確認しておく	学修内容をふり返り、資料を読み直す						
	7	乳幼児期の人間関係のひろがり ～家庭生活・園生活・地域へとひろがる場と関係性	テキストや参考資料の該当箇所を読んでおく	学修内容をふり返り、資料を読み直す						
	8	乳児期に育みたい資質・能力と人間関係 ～乳幼児期から学童期以降の育ちのつながりを理解する ＊部分指導案の作成	乳幼児期から学童期以降のつながりについて考えておく	学修内容をふり返り、資料を読み直す						
教科書・テキスト等	新保育ライブラリ「保育内容 人間関係」（北大路書房）			成績 評価 基準	評価方法		割合（％）	評価のポイント		
					定期試験		50%	課題についての内容充実、自分の考え		
					毎時の振り返りワーク		40%	内容理解の深さと自分の考え		
参考書・参考資料等	平成29年度告示 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド本社）				平常点		10%	積極性、出席時数は、4／5以上が必要		

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー	
KC2E2E20 保育内容（環境）	松岡 和男	単独	1単位	こども学科 2年次	後期	選択必修	必修	必修		A B C D F	
授業のテーマ及び到達目標		授 業 計 画									
幼児を取り巻く環境と、幼児の発達 にとっての意義を理解する。 幼児期の思考・科学的概念の発達を 理解する。 幼児期の標識・文字等、情報・施設 との関わりの発達を理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
	1	オリエンテーション 現代社会の幼児を取り巻く環境と課題～ 環境の諸側面（物的・人的・安全等）、 知識基盤社会、E S D等	シラバスをもと に、学習内容の見 直しを立てる	学んだことをま とめる							
	2	乳幼児の発達における環境との関わり ～乳幼児の環境との関わりを捉える 心理学的観点 【映像資料】	テキストや参考資 料の該当箇所を読 んでおく	幼児教育の特性 についてまとめる							
	3	乳幼児期・児童期の認知的発達 ～乳幼児期・児童期の認知的発達の 特徴	乳幼児の認知的発 達についてテキス トで確認する	配布資料を読み 直す							
	4	乳幼児の物理的、数量・図形との関わり ～乳幼児の物理的、数量・図形との関 わりと具体的な活動（おもちゃづくり等）	自分自身が乳幼児 期に興味をもった 対象について調べ る	学びを通して、 自分自身の乳幼 児期を振り返りか える							
授業の概要											
領域「環境」の指導で必要となる感 性を養い、教育内容に関する知識・ 技能を身に付ける。 特に領域「環境」の指導の基礎とな る、現代の幼児を取り巻く環境とそ の現代的課題、幼児と身近な環境と の関わりの発達などについて学ぶ。	5	乳幼児の自然と関わり① ～乳幼児の生物・自然の関わりと 具体的活動事例（自然物の遊び他）	自然環境の具体例 を考え、準備して おく	配布資料を読み 直す							
	6	乳幼児の自然と関わり② ～乳幼児生物・自然の関わりと具体的活 動事例（自然体験活動、フィールドワー ク等）	テキストや参考資 料の該当箇所を読 んでおく	フィールドワー クでの気づきな どをまとめる							
	7	乳幼児の標識・文字等との関わり ～乳幼児を取り巻く標識・文字環境と、 それらに関わる具体的な活動事例（生活 の中の標識・文字探し等）	周囲にある標識や 文字についてスマ ホ写真で撮ってお く	学修内容をふり 返り、資料を読 み直す							
	8	乳幼児の情報・施設との関わり ～乳幼児の生活に関係の深い情報・ 施設と、それらに関わる具体的な 活動事例に部分指導案作成	乳幼児に関わる施 設とその役目につ いて調べておく	学修内容をふり 返り、資料を読 み直す							
教科書・テキスト等	保育内容「環境」～あなたならどうしますか？（明文書刊）		成 績 評 価 基準	評価方法		割合（％）	評価のポイント				
				定期試験 毎時の振り返りワーク		50% 40%	課題についての内容充実、自分の考え 内容理解の深さと自分の考え				
参考書・参考資料等	平成29年度告示 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保 連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド本社）			平常点		10%	積極性、出席時数は、4／5以上が必要				

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E2E21 保育内容（言葉）	堀山 範夫	単独	2単位	こども学科 2年次	後期	選択必修	選択必修	選択必修		A B C D
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○子どもの言葉の育ちと保育者の役割 人は言葉によって認識し、思考し、人とのつながりを深めていく。乳幼児は、身近な人との関わりの中で言葉に関心を持ち、言葉を獲得していく。そんな子どもたちの言葉の発達過程や育ちを支える保育者のかかわり方を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	領域「言葉」① ・ねらい及び内容 ・子どもの言葉の捉え方	領域「言葉」のねらいと内容について調べる。	領域「言葉」のねらいと内容についてまとめる。	9	児童文化財の活用① ・児童文化財とは何か ・絵本 童話	これまでに読んだ心に残る絵本について想起する。	絵本を読み、読み聞かせをしたいた絵本を選択する。		
	2	領域「言葉」② ・言葉の感覚 ・領域「言葉」と教科「国語」	領域「言葉」のねらいと内容について調べる。	領域「言葉」と教科「国語」の関連を整理する。	10	児童文化財の活用② ・紙芝居 ・人形劇	紙芝居や人形劇に関する体験について想起する。	パネルシアターの方法を調べ、準備を進める。		
	3	子どもと言葉① ・言葉のはたらき ・身近な世界とかわる言葉	言葉にはどんなはたらきがあるかを調べて考える。	言葉のはたらき、かわりと言葉について整理する。	11	読み聞かせの実際① ・絵本や機器を活用した読み聞かせの方法 ・絵本の選択と準備及び指導案作成	読み聞かせしたい絵本の紹介の準備をする。	絵本の読み聞かせの準備と練習をする。		
	4	子どもと言葉② ・生活における言葉の体験 ・言葉が出る条件	どんな体験が子どもの言葉育てるのかについて考える。	生活と言葉、体験と言葉について整理する。	12	読み聞かせの実際② ・模擬保育における読み聞かせの実践 ・読み聞かせの評価及び改善	絵本の読み聞かせの準備と練習をする。	読み聞かせの奨励点と改善点を整理する。		
授業の概要	5	言葉の発達① ・言葉の前の言葉 ・言葉の発達過程	乳幼児と接した経験から言葉に関わることを想起する。	子どもの言葉の発達過程について整理する。	13	パネルシアターの実践① ・パネルシアターの方法 ・題材の選択と準備及び指導案作成	予定しているパネルシアターの紹介の準備をする。	パネルシアターの準備と練習をする。		
幼稚園教育要領、保育所保育指針等における領域「言葉」のねらいと内容を理解するとともに、乳幼児期の言葉の発達について理解していく。子どもの言葉の育ちを支える保育者の役割と援助の在り方、人的・文化的環境の在り方等について実践的に学ぶ。	6	言葉の発達② ・文字への興味・関心 ・個々の言葉の発達への配慮	乳幼児と接した経験から文字に関わることを想起する。	個々の言葉の発達への配慮について考えて整理する。	14	パネルシアターの実践② ・模擬保育におけるパネルシアターの実践 ・パネルシアターの評価及び改善	パネルシアターの準備と練習をする。	パネルシアターの奨励点と改善点を整理する。		
	7	言葉と環境① ・言葉と人的環境 ・人的環境としての保育者の役割	言葉にかかわるどんな人的環境があるか考える。	よりよい人的環境について考えて整理する。	15	子どもの言葉育て ・子どもを取り巻く言語環境 ・豊かな言葉育てる保育者	子どもを取り巻く言語環境の課題について考える。	子どもの言葉育てよう育てていきたいかをまとめる。		
	8	言葉と環境② ・言葉と文化的環境 ・文化に触れる意味	言葉にかかわるどんな文化的環境があるか考える。	文化的環境をどのように活用するか考え整理する。						
教科書・テキスト等	適宜、資料を配付する。		成績評価基準	評価方法		割合 (%)	評価のポイント			
				期末試験・レポート		50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え			
参考書・参考資料等				課題への取組 平常点		30% 20%	事前準備・意見発表・事後整理の状況 意見交流への前向きな参加態度			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E1C22 保育内容（表現）	石岡 ひろみ	単独	2単位	こども学科 2年次	後期	必修	必修	必修		A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
子どもの発育・発達に合わせ、子どもたち自ら「やってみたい」という意欲をもつことができるような表現あそびを理解する。そのうえで指導案作成や模擬保育が出来るようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション ・感性、表現の意味と創造性 ・音楽表現、身体表現、造形表現、言語表現について	シラバスの内容を確認しておく	本時の学びをまとめる	9	年齢に応じた、秋の表現あそびの展開と指導案の書き方	秋の表現あそびの展開と工夫を考えておく	秋の表現あそびの指導案の書き方についてまとめる		
	2	子どもの手あそび歌 心豊かに表現あそびとして楽しむ 情報端末の効果的活用法を考える	1年次に学んだ、手あそび、歌あそびを振り返る	日常的に使える手あそび、歌あそびをまとめる	10	年齢に応じた、冬の表現あそび 音楽表現、身体表現、造形表現、言語表現	冬に活かせる表現あそびを年齢毎に考えておく	冬の表現あそびの展開を考える		
	3	日常生活の中の身近な素材を活かした表現あそびや伝承あそびについて	身近な素材を集めてみる	身近な素材を使った表現の展開を考える	11	年齢に応じた、冬の表現あそびの展開と指導案の書き方	冬の表現あそびの展開と工夫を考えておく	冬の表現あそびの指導案の書き方についてまとめる		
	4	年齢に応じた、春の表現あそび 音楽表現、身体表現、造形表現、言語表現	春に活かせる表現あそびを年齢毎に考えておく	春の表現あそびの展開を考える	12	空想の世界から年齢に応じた素材を見つけ、工夫し発展させる 模擬保育の実践	空想の世界で活かせる年齢に応じた素材を見つけるしておく	年齢を考慮した空の世界の発展についてまとめる		
授業の概要	5	年齢に応じた、春の表現あそびの展開と指導案の書き方	春の表現あそびの展開と工夫を考えておく	春の表現あそびの指導案の書き方についてまとめる	13	素ばなしの特性 素ばなしをする上で留意すべき点 (別途資料配布)	素ばなしとは何か調べる	素ばなしの特性についてまとめる		
子どもの豊かな感性や表現を更に引き出す有効な言葉掛けや環境について研究し、指導案作成や模擬保育を実践する。表現あそびの具体的な指導場面を想定し、保育構想の向上に取り組む。	6	年齢に応じた、夏の表現あそび 音楽表現、身体表現、造形表現、言語表現	夏に活かせる表現あそびを年齢毎に考えておく	夏の表現あそびの展開を考える	14	素ばなしを表現豊かに演じる 模擬保育の実践	短い素ばなしの練習をしておく	素ばなしを実践してみる		
	7	年齢に応じた、夏の表現あそびの展開と指導案の書き方	夏の表現あそびの展開と工夫を考えておく	夏の表現あそびの指導案の書き方についてまとめる	15	保育者の視点をもって素ばなしを演じ、気づき・振り返りを行う 模擬保育の実践	子どもに伝わる素ばなしを試みる	これまでの学修を振り返りまとめる		
	8	年齢に応じた、秋の表現あそび 音楽表現、身体表現、造形表現、言語表現	秋に活かせる表現あそびを年齢毎に考えておく	秋の表現あそびの展開を考える						
教科書・テキスト等	演習 保育内容「表現」—基礎的事項の理解と指導法— (建邦社)		成績評価基準	評価方法		割合 (%)	評価のポイント			
				期末試験（実技）		50%	理解度、独自性			
参考書・参考資料等				課題／発表／振り返り 平常点（態度）		30% 20%	課題への取り組み方、発表の仕方 保育者の視点をもった積極的な取り組み			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E1C23 表現技術	石岡　ひろみ	単独	2単位	こども学科 3年次	前期	必修	必修	必修		A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画									
ゆたかな表現を通して子どもたちが自らやってみようという意欲を持つことができる様な保育者の表現技術、支援、指導法を見出し、実践できるよう学ぶ。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション ミニシアターの成り立ちと特徴について導入、手あそび、絵本の読み聞かせ	おすすめの本を準備しておく	ミニシアターについて整理しておく	9	日常保育に活かせる表現技術 季節のお話、伝承あそび ペープサートの活用 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	表現技術にはどのようなものがあるか考える	日常保育における表現技術について整理する		
	2	手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ 紙芝居の効果的な使い方・演じ方 ミニシアターを保育に活かす	おすすめの手あそび、歌あそびを準備しておく	ミニシアターの活かし方をまとめる	10	エプロンシアターの誕生と魅力 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシアターの題材を考えておく	エプロンシアター制作に向けて準備を進める		
	3	絵本の効果的な使い方・演じ方 手あそび、歌あそび ミニシアターを用いた保育の展開と効果的な演じ方	ミニシアター、手あそび等工夫して演じてみる	ミニシアター等の演じ方を振り返る	11	エプロンシアターの仕掛けと工夫 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシアターの工夫を考える	エプロンシアター完成に向けて準備を進める		
	4	絵本の読み聞かせ実践 パネルシアターの誕生と魅力 手あそび、歌あそび	パネルシアターの題材を探しておく	パネルシアター制作の工夫を考える	12	エプロンシアターの効果的な使い方 指導案作成 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシアターの活かし方について考える	エプロンシアター完成に向けて準備を進める		
授業の概要										
子どもたちが心を動かしたり、感性を働かせたりする一助となるように、保育者自身の感性を高め、表現技術を磨き合う。指導案作成や模擬保育に、熱心に取り組む。	5	絵本の読み聞かせ実践 パネルシアターを用いた保育の展開 手あそび、歌あそび	パネルシアター制作の準備をする	仕上げたパネルシアターの活かし方考える	13	エプロンシアターの演じ方 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	エプロンシアターの演じ方について考える	エプロンシアター発表の準備をする		
	6	パネルシアターの効果的な使い方・演じ方 手あそび、歌あそび、絵本の読み聞かせ	パネルシアターの導入を検討しておく	何度も演じてみる	14	手作りのエプロンシアターをいっきと演じて、子どもたちとのコミュニケーションを楽しむ方法を学ぶ	表現豊かにエプロンシアターを演じる練習をする	エプロンシアター発表の準備をする		
	7	パネルシアターを表現豊かに演じて子どもたちとコミュニケーションを図る 模擬保育の実践	発表の準備をする	実際にどう活かすかまとめる	15	手作りのエプロンシアターをいっきと演じて、子どもたちとの関わり、伝えたいことを明確にする / 表現技術のまとめ	表現技術の集大成としてエプロンシアターを発表する	これまでの学修を振り返りまとめる		
	8	日常保育に活かせる保育技術 映像を活用した保育を考える 部分保育・指導案の作成	実習の手引きを準備し指導案に目を通す	指導案の作成について振り返る						
教科書・テキスト等	平成29年度告示/幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼稚園保育要領 認定こども園教育・保育要領(チャイルド本社)			成績 評価 基準	評価方法		割合(%)	評価のポイント		
					期末試験(実技)		50%	理解度、独自性		
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料配付			課題/発表/振り返り		30%	課題への取り組み方、発表の仕方			
				平常点(態度)		20%	保育者の視点をもった積極的な取り組み			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E24 乳児保育Ⅰ	沖田 秀子	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択		必修		A B F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
広く乳幼児(3歳未満児)の発達と保育について学び、保育現場での具体的な課題を討議しながら考え、問題解決の方法を理解し、実践できるようになる	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション誕生までのタイムライン、胎内環境を学ぶ	シラバスを熟読する	胎児の成長をまとめる	9	0～1歳児の遊びの内容と実践 教材の紹介、実践、遊びの紹介	教科書、体験と遊びを熟読する	遊びの内容をまとめる		
	2	誕生から7か月までの体の発達の特徴と保育の中で大切にすべきこと、全身運動の発達を学ぶ(プリントで説明)	教科書、発達の過程を熟読する	発達についてまとめる	10	1～2歳児の遊びの内容と実践 教材の紹介、実践、遊びの紹介	教科書、体験と遊びを熟読する	遊びの内容をまとめる		
	3	7か月から1歳3か月までの体の発達の特徴と保育の中で大切にすべきこと、全身運動の発達を学ぶ(プリントで説明)	教科書、発達の過程を熟読する	発達についてまとめる	11	乳幼児の心の発達泣くことから、第一反抗期までの発達を学ぶ	認知の発達を熟読する	理論についてまとめる		
	4	0～1歳までの手の発達の特徴と保育の中で大切にすべきこと、手の運動発達を学ぶ(プリントで説明)	教科書、発達の過程を熟読する	発達についてまとめる	12	乳幼児保育における大人の役割子どもの育ちに対して大人の関わりを学ぶ	教科書、「人と関係をもつ育ち」を熟読する	実践を通して体験をまとめる		
授業の概要										
わが国における乳児保育の変遷と理論や知識・技術の基本を具体的な事例を通して理解し、保育者としての役割を理解する	5	0・1・2歳児の保育環境DVDを観ながら環境を考える	教科書、発達の過程を熟読する	DVDを観ての気づきをまとめる	13	生活習慣の自立に向けて(沐浴・着脱・排泄・睡眠・安全・清潔・健康作り)理論と実践を通して大人の援助の仕方を学ぶ	教科書、援助の実践を熟読する	実践を通して体験をまとめる		
	6	授乳と離乳食について理論を理解し、援助の仕方を学ぶ	教科書の授乳、離乳食について熟読する	理論についてまとめる	14	まとめ・グループ討議乳幼児の心身の発達を再確認し、グループでまとめて発表する	授業を振り返り自分なりの課題をまとめる	援助の仕方を考え、まとめる		
	7	0～2歳児の言葉の発達と関わり(1)乳児の聴覚、言葉の発達を理解する	基礎理論、言葉とコミュニケーションの発達	理論についてまとめる	15	テスト 試験、これまでの講義、演習内容を総括し、理解を深める	総復習	総復習		
	8	0～2歳児の言葉の発達と関わり(2)1・2歳児の言葉の発達を理解する	基礎理論、言葉とコミュニケーションの発達	理論についてまとめる						
教科書・テキスト等	見る・考える・創りだす乳児保育Ⅰ・Ⅱ 養成校と保育室をつなぐ理論と実践(萌文書林)			成績評価基準	評価方法		割合(%)	評価のポイント		
参考書・参考資料等					平常点(態度・行動観察) 課題／レポート 2回 グループ討議と発表 毎時間の振り返り		20% 60% 20%	積極的な取り組み、出席回数が2/3を満たす 内容の深さと自分の考え 理解度		

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E24 乳児保育Ⅱ	沖田 秀子	単独	1 単位	こども学科 3年次	後期	選択		必修		A B F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
乳児保育Ⅰで学んだ知識をより深く 考察して保育者としての役割を学習 する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容		事前学修		事後学修
	1	乳児保育の制度と課題を学ぶ	教科書①、保育制 度を熟読する	保育制度をまと める						
	2	乳児保育の基本と重要性を学ぶ	教科書②を熟読す る	乳児保育とは何 かをまとめる						
	3	保育の原理と保育内容を理解する	教科書④を熟読す る	保育内容につい てまとめる						
	4	乳児期の心身の発達と援助の仕方を学ぶ	教科書⑤心身の発 達を熟読する	発達についてま とめる						
授業の概要										
多岐にわたる専門領域の知識を学 び、高い専門性と実践力を備えた保 育者を目指す。	5	乳児期の心身の発達と援助の仕方を学ぶ	教科書⑤援助の仕 方を熟読する	援助の仕方をま とめる						
	6	保育士の専門性・実践力を学ぶ	教科書③を熟読す る	保育士の専門性 をまとめる						
	7	乳児保育における計画と実際を学ぶ	保育計画を熟読す る	保育計画の書き 方をまとめる						
	8	これまでの講義のまとめをする	総復習	総復習						
教科書・テキスト等	見る・考える・創り出す乳児保育Ⅰ・Ⅱ 養成校と保育室をつなぐ 理論と実践（萌文書林）		成 績 評 価 基 準	評価方法		割合（％）	評価のポイント			
参考書・参考資料等				平常点（態度・行動観察） 課題／レポート 2回 グループ討議と発表		20% 60% 20%	積極的な取り組み、出席回数が2/3を満たす 内容の深さと自分の考え 理解度			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E26 特別支援教育論	河田 得一	複数	1 単位	こども学科 2 年次	後期		必修			A B F
授業のテーマ及び到達目標		授 業 計 画								
①障害の特性、心身の発達、学習上・生活上の困難等の基礎的知識について理解し例示することができる。②特別支援教育に係る教育課程や支援方法を理解し例示することができる。③特別支援教育の体制整備、個別の指導計画及び個別的教育支援計画の作成、他機関等との連携について、その必要性と方法を理解し説明することができる。④母国語や貧困の問題等がもたらす特別の教育的ニーズに対しての組織的対応の必要性を理解し説明することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	障害特性の理解と支援方法（1）障害特性、学習上・生活上の困難の理解	参考書の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作	7	特別な教育的ニーズの理解と対応 母国語や貧困の問題等がもたらす特別の教育的ニーズの理解と組織的な対応	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作		
	2	障害特性の理解と支援方法（2）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（1）アセスメントに基づく指導と支援を中心に	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作	8	試験と総括講義 試験とこれまでの授業の総括としての講義	これまで作った自作テキストで総復習しておく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを完成		
	3	障害特性の理解と支援方法（3）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（2）ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり・指導と支援を中心に	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
	4	特別支援教育の教育課程インクルーシブ教育システムの構築、就学先等の決定プロセスに関する理解、特別支援学校・特別支援学級・通級による指導に関する制度・内容の理解、自立活動とその内容の理解、交流及び共同学習の理解	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
	5	特別支援教育の体制整備 特別支援教育コーディネーターの指名、園・校内委員会の位置付け、研修の充実、特別支援学校のセンター的機能の活用、データベースの活用、ケース検討会の充実	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
発達障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が通常の学級にも在籍している現状を踏まえ、当該幼児、児童及び生徒が主体的に学習し、生きる力を身に付けていくために、彼らの学習上又は生活上の困難を理解した上で、個別の教育的ニーズを把握し、園・学校総体として関係機関とも連携した組織的対応をしていくために必要な知識や支援方法を理解する。	6	個別の指導計画・教育支援計画の作成等 PDCAサイクルに基づく個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成、他機関との連携の重要性、移行支援の重要性	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
教科書・テキスト等	毎回、授業データを書取り又は配布し、1冊のテキストが完成できるようにする。	成績評価基準	評価方法		割合(%)		評価のポイント			
	平常点 課題/レポート 期末テスト		20% 20% 50%	本科目への関心・態度・意欲 知識、理解度、思考力、判断力、表現力 知識、理解度、思考力、判断力、表現力						
参考書・参考資料等	特別支援教育研究（東洋館出版社：月刊）、実践障害児教育（学研：月刊）、特別支援教育（文部科学省：季刊） など									

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E27 保育の心理学	竹下 健太	単独	2単位	こども学科 3年次	前期	選択		必修		A B C F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
保育に必要な心理学の発達理論等を用いて子どもの発達を理解、子どもの発達に関する心理学を学ぶことで、子どもの発達に合わせ養護と教育が一体となった援助を行えるようになる。乳幼児期の子どもの学びの過程や特性を理解し、対人的相互作用や体験、環境を生かした保育ができるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	人としての発達を理解することの意義をふまえ、こどもの発達に影響を与える社会的・文化的、制度的環境について学修	こどもの発達を理解することの意義について予習	発達に影響を与える環境要因について調査する	9	認知的能力がどのように発達していくか、幼児が形成する素朴理論を中心に学修	素朴理論について調べておく	自分が持っていた素朴理論をその影響について考察		
	2	保育者・養育者のもつこども観・保育観がこどもの発達にどのように影響を与えるかについて学修	自分の持つこども観・保育観についてまとめる	様々なこども観・保育観を調べて比較する	10	前回及び前々回の授業内容をふまえて、園生活のなかでどのように認知能力が発達するか、それをどう支えるかを学修・考察	幼稚園で育まれる認知能力について調べる	認知能力を伸ばす関わりについて考察		
	3	社会的情動の発達の基礎となる養育者や保育者との愛着関係と、それを基盤としてこども同士の関わり合いが始まる様子を学修	愛着とは何かについて調べてまとめておく	大人との関わり、こどもとの関わりへ影響を調べる	11	言語発達の基礎となる人との関わりを中心に、乳幼児がどのように「言葉」の機能を知り、それを学ぶか学修	言語を学ぶ基盤となるものについて調べておく	言語発達の基礎作りの時期の関わりについて考察		
	4	こども同士の関わり合いが進展していく中で、どのように社会的情動が発達していくかを理解し、保育者としてどのようにそれを支えるか考察	こども同士のいざこざ場面の動画を観る	こども同士のいざこざの意義を考える	12	言葉がどのように発達していくか、その発達に影響を与える周囲の環境や人との関わりはどのようなものかを学修	幼児期の言語発達について調べる	幼児期の言語発達を促進する関わりについて考察		
授業の概要	5	乳・幼児の身体的発達及び運動機能の発達及びその特徴を学修	乳・幼児期の身体的機能の発達について調べる	乳・幼児期の運動機能の発達について調べる	13	乳・幼児期の言語的発達が児童期の生活や学習の基礎となることを学修し、適切な関わりについて考察	幼児期と児童期の関連について調べる	幼児期と児童期の関連をふまえた関わりについて考察		
これから保育士を目指す方や、保育に関心がある方を知っていただきたい人の生涯発達及びその観点から考えた保育について授業を行う。	6	乳・幼児の身体的・運動的発達の個人差や環境による影響、心理的発達との関連について理解を深め、適切な関わりについて考察	身体的・運動的発達を促進要因について調べる	身体的・運動的発達の心理的要因を調べる	14	乳・幼児期の学びに関わる理論について学修	乳・幼児期の学びについて調べておく	乳・幼児期の学びの理論を比較し考察		
	7	ピアジェの理論について理解を深める。また、この理論について、最新の知見をもとに再検討する。	ピアジェの理論についてまとめておく	ピアジェの理論に対する批判についてまとめる	15	乳・幼児期の学びの過程と特性をふまえて保育者の適切な関わりについて考察	幼稚園教諭や保育教諭となったときの関わりを考える	これまでの授業内容を今後にどう生かすか考える		
	8	認知的能力の発達が始まる様子について学修	認知的能力の発達の基礎について調べる	認知的能力の始まりの時期の関わり方を考える						
教科書・テキスト等	保育の心理学(北大路書房)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					小レポート (14回)	70%	授業内容への興味関心の度合いと理解度			
参考書・参考資料等					最終レポート	30%	授業内容への興味関心の度合いと理解度			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E28 こどもの理解と援助	竹下 健太	単独	1単位	こども学科 3年次	後期	選択		必修		A B D F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
① 子どものこ身の発達と保育実践について理解を深める ② 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する ③ 保育における発達援助について学修	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	こどもを共感的に理解する意義を学修し理解するうえで大切なことは何か考え、演習する	共感的理解について調べておく	こどもを動画等で観察し内面をいろいろ推測してみる	9	こども理解に欠かせない観察と記録の方法を学修し演習する	こどもの観察法について調べてみる	こどもを動画等で観察し記録してみる		
	2	子どもを生活や遊びの中で理解し、その中で学びを支える関わりを考え、演習する	こどもの遊び場面を動画等で観て内面を推測	こどもの遊びを促進する関わりを考える	10	こどもの観察と記録をもとに省察・評価する方法を学修し演習する	こどもの記録をよく読んで対応を考える	こどもの記録をもとに学生同士で対応を話し合ってみる		
	3	こどもの発達における人的環境としての保育者という観点から適切な関わりについて考え、演習する	保育者が見守ることの意義を考える	こどもの安心感を高める関わりを考える	11	職員間の対話の重要性を理解し、対話を促進する方法について学修し演習する	職員間の対話が何故重要か調べて考える	学生同士で職員間の対話を役割練習する		
	4	こども相互の関わりと関係作りについて学修し、それをどう支えるか考え演習する	こども同士の関わり場面を動画等で観察し記録してみる	こどもの親和欲求を促進する関わりを考えてみる	12	保護者との情報を共有する重要性を理解し、その方法について学修し演習する	保護者との情報の共有が何故重要か調べて考える	学生同士で保護者との対話を役割練習する		
授業の概要	5	こども達はこどもの集団の中でどのようなことを学ぶかを学修し、その学びを支える方法を考えて、演習する	こどもの集団を動画等で観察し記録してみる	こどもが集団内で学ぶことについてまとめてみる	13	発達課題の理論や検査、その意義を学修しそれを現場で活かせるように演習する	いくつかの発達検査について調べ比較してみる	学生同士で役割を決めて発達検査の練習		
保育の心理学Ⅰの学習内容を基に保育の現場における様々な課題について学生同士で討議させ、理解を深めると共に大学での学びと現場での実践の橋渡しとなる演習を行う。	6	幼児期に経験する葛藤やつまずきについて学修し、その意義や、それをどう支えるか考え演習する	自分のこどものころの葛藤をいくつか書き出してみる	葛藤中の幼児期の自分に会えたらどう関わるか考える	14	特別な配慮を要するこどもの理解と援助について学修し、それを現場で活かせるように演習する	様々な障害について調べてまとめる	学生同士で役割を決めて配慮や援助の練習		
	7	乳・幼児期の物や人との出会いを理解し保育の環境を構成する仕方を学修し、演習する	乳・幼児期の環境内にあるものを列挙してみる	乳・幼児の環境内にあるものの影響を考察する	15	発達の連続性と修学への支援について学修し、それを現場で活かせるように演習する	幼保小の連携について調べてまとめる	幼保小の連携を促進する方法を考える		
	8	入園・卒園等の環境の変化や移行がこどもにも与える影響を学修し、そういった時期のこどもを支える関わりを考え演習する	人生で大きな環境変化があった時のことを書いてみる	環境変化に適応するために必要なものをまとめる						
教科書・テキスト等	子どもの理解と援助 (北大路書房)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					小レポート 14回	70%	授業内容への興味関心の度合いと理解度			
参考書・参考資料等					最終レポート	30%	授業内容への興味関心の度合いと理解度			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2E3E29 生活科論	松岡 和男	単独	2単位	こども学科 3年次	前期	選択	選択必修	選択必修		A B C D F
授 業 計 画										
授業のテーマ及び到達目標	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
「学習指導要領の内容を理解し、指導法を探ろう」 学習指導要領「生活科」の指導内容をもとに、学習指導計画・支援計画を作成することができる。	1	オリエンテーション ＊生活科と育てたい力について ＊生活科改訂の基本的な考え方 【映像資料】	シラバスをもとに、学習内容の見直しを立てる	学んだことをまとめる	9	単元計画の作成④ ＊学習評価の在り方（グループ活動） 模擬保育を事例とした計画・実践・評価	幼稚園教育要領解説の該当箇所を読んでおく	自作の単元計画を評価の視点で見直す		
	2	幼児期の特性と幼稚園教育の役割について ＊幼児教育と領域「環境」との関連	保育内容「環境」の授業内容について復習しておく	幼児教育の特性についてまとめる	10	学習指導の進め方① ＊地域環境と文化理解、行事の意義 【情報端末を利用した情報収集】	児童の教育に関わる様々な関係施設について調べる	行事の意義や異文化理解についてまとめる		
	3	生活科における指導計画と学習指導の基本的な考え方 ＊カリキュラム・マネジメント、指導計画作成	「カリキュラム・マネジメント」について読んでおく	指導計画の作成方法について復習する	11	学習指導の進め方② ＊指導体制と年間の見通し 【グループによるプレゼンテーション準備】	児童の教育に関わる様々な職種の職務について調べる	学びのまとめをする		
	4	生活科における年間指導計画の作成① ＊児童への配慮事項 ＊地域の環境と内外の教育資源の活用	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	配布資料を読み直し、整理しておく	12	学習指導の進め方③ ＊試行錯誤やくりかえす活動の設定 【プレゼンテーションソフト活用、発表】	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	学びをもとに自作の単元計画を見直す		
	5	生活科における年間指導計画の作成② ＊各教科及び幼児期の教育との関わり ＊授業時数の適切な割り振り	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	配布資料を読み直し、整理しておく	13	学習指導の進め方④ ＊支え合い交流する場の工夫 ＊振り返り表現する場の設定	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	学びをもとに自作の単元計画を見直す		
	6	単元計画の作成① ＊内容の組み合わせ ＊単元の構想と単元計画の作成	学習指導要領解説の該当箇所を読んでおく	単元計画についてまとめる	14	学習指導の進め方⑤（児童理解と配慮事項） ＊児童の多様性を生かし、学びをより豊かにするために	幼稚園教育要領解説の該当箇所を読んでおく	配布資料を読み直す		
	7	単元計画の作成② ＊低学年特有の発達・成長への配慮 ＊幼小連携と教育、学びの萌芽と環境構成	幼稚園教育要領解説の該当箇所を読んでおく	配付資料を整理しておく	15	自作の題材指導計画の見直し（グループ活動） ＊同じ題材のメンバーで検討会を実施 各自の指導計画の見直しと改善	自作の題材指導計画を作成しておく	検討会での学びをもとに、指導計画を完成させる		
	8	単元計画の作成③ ＊体験と事例をもとに部分指導案 →グループ活動による指導案作成	心に残っている「生活科」の授業について振り返りまとめる	本地の学びをもとに、自作の単元計画のテーマを決める						
授業の概要										
学習指導要領の内容を読み解くことを通して、身に付けさせたい資質能力についての理解を深める。 また、事例を参考にいくつかの題材の指導計画を作成することを通して、地域や園の状況、子どもたちの発達状況により配慮すべき点や支援のあり方を理解し、具体的方法を身に付ける。										
教科書・テキスト等	改訂小学校学習指導要領解説 生活編（最新版）（東洋館出版社）			成績評価基準	評価方法		割合（％）	評価のポイント		
					定期試験	50%	課題についての内容充実、自分の考え			
					毎時の振り返りワーク	40%	内容理解の深さと自分の考え			
					平常点	10%	積極性、出席数は、4／5以上が必要			
参考書・参考資料等	平成29年度告示 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド本社）									